

「誇れる街 苦小牧へ」

20年先を見据えた

まちづくりを実践します！



苦小牧市長 岩倉 博文

去る6月29日に執行されました苦小牧市長選挙の結果を受け、三度、市政運営を担うこととなりました。引き続き、よろしく願います。

このたびの選挙は、私にとりましては3度目の市長選でありましたが、市民の皆さまには、これまで2期8年間の実績を評価していただいたものと考えておりますし、将来展望を見据えた、この街に對する私の強い思いが伝わったものと感じております。

私は、3期目にあたり、5分野25項目50施策の公約を掲げました。公約の実現に向けましては、できるだけ早く、具体的な施策として全力で取り組んでいく所存であります。

特に、財政の健全化は、1期目市長就任時からの最重要課題であり、財政健全化計画ステップ3を着実に進め、次なる

財政基盤安定化計画（仮称）の策定につなげてまいります。

行政改革におきましても、来年度から新たに取り組む新行政改革プランを策定し、さらなる行政費用の抑制と行政運営の効率化を図るなど、一歩一歩確実に財政基盤の強化を図り、次世代のため、20年先を見据えた「強い苦小牧づくり」を目指してまいります。

また、流入人口を増やすためのチャレンジテーマの一つが統合型リゾート（IR）であります。日本経済が収縮し、需要拡大を目指した設備投資が難しくなる中で、新たな分野での雇用を確保し、若い人が働ける、良質な雇用の場がたくさんある街をしっかりと創っていかねばなりません。今後とも法案の行方を注視していく必要がありますが、市民への情報の発信や共有など、法案の成立を踏

まえた準備を進めてまいりたいと考えております。

さらには、中心市街地活性化や市立病院の休止病棟再開など、現在抱えている課題に対しても全力で取り組むとともに、『ふくしのまちづくり』をテーマに、「支えあうまち」のイメージを市役所全体で共有し、市政執行に当たってまいります。

今は、市民の皆さまの期待と、その職責の重さを感じ、身が引き締まる思いでいっぱいでありたいです。与えられた4年間で、市民のため、そして、市政発展のために、強い使命感を持って、ふるさと苦小牧の市長としての責任を果たしてまいりたいと考えております。皆さまのなご一層のご支援とご協力、そして、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

市長就任の記者会見録はホームページに掲載しておりますのでご覧ください

市長選挙結果



6月29日に市内41カ所の投票所で苦小牧市長選挙が行われました。即日開票の結果は次のとおりです。

選挙結果			
当日の有権者数	140,481人	当	岩倉 博文 35,937票
投票者数	55,160人		工藤 良一 17,837票
投票率	39.27%		(敬称略)

◀ 6月30日に行われた当選証書授与式の様子